

平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	卒業研究 (Graduation Thesis)		授業コード	C109927
担当教員名	岩村 直樹			
配当学年	4	開講期	前期	
必修・選択区分		単位数	6	
履修上の注意または履修条件				
受講心得	失敗を恐れず、権威に物おじせず、明るくチャレンジする姿勢を重視します。			
教科書				
参考文献及び指定図書				
関連科目				

授業の目的	<p>社会に出てから要求される工学的アプローチ、設計・実験・解析のあり方、計画の進め方、失敗への対処法、報告のやり方、チームプレーのあり方、プレゼンテーションの方法などを研究を通し学ぶことを目標にします。</p>
授業の概要	<p>毎週定期的に研究室に集合して、実機例調査、ロータの基礎理論などを踏まえ、それぞれ各自の研究にうつります。小型回転翼機の概念設計を主要な研究テーマとし、次に示すようなテーマの中から各自の研究テーマを選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘリコプタの簡易性能計算プログラムの作成 ・CATIAを用いた設計 ・マハラピス・タグチシステム(MT法)を用いた回転軸異常データの検出 ・ラジコンヘリを用いたヘリコプタ性能の検証 ・その他(チルトロータ・球体飛行機など)

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週:	
第2週:	
第3週:	
第4週:	
第5週:	
第6週:	
第7週:	
第8週:	
第9週:	

第10週：		
第11週：		
第12週：		
第13週：		
第14週：		
第15週：		
第16週：期末試験		
授業の運営方法	(1)授業の形式	
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	① 卒研テーマに関心を持ち積極的に取り組むことができる。
【知識・理解】	② 自ら調査し、自ら発案することができる。
【技能・表現・コミュニケーション】	③ 他の仲間の研究テーマにも、チームの一員という意識で協調し積極的に助言ができる。また、他人からの忠告助言を謙虚に聞き分け、自らのテーマを促進することができる。
【思考・判断・創造】	④ 自律して卒研に取り組むことができる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		20点	10点	
【知識・理解】 ※「専門能力<知識の獲得>」を含む。		10点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力<知識の活用>」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		10点	20点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		10点	10点	
(「人間力」について) ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	
発表・その他(無形成果)	